

河さんは「仙北市の文化振興と観光行政発展のために寄与・貢献できることを喜び、この像が共生社会の礎として、韓日友好のともじりとなることを祈っている」と話しました。



左から河さんの奥様・尹昌子（ユン・チャンジャ）さん、河さん、駐仙台韓国総領事館の李昌勲（イ・チャンフン）副総領事、門脇前市長、安部哲男さん、浅利利美さん。

生保内小・中学校の卒業生で在日韓国人2世の河正雄（ハ・ジョンウン）さんが、仙北市の文化振興と観光行政の発展に御座石神社駐車場前の市公園敷地内に「ふるさとの碑」を建立、寄贈いただきました。



ふるさとの碑には、河さんが詠んだ碑文の句「ふるさとを 田沢と呼ばれ 彼岸花」が刻まれています。

## 河正雄さんが記念碑を建立・寄贈

市の文化振興と観光行政の発展に

感動をありがとう

## 佐藤彩乃選手がオリンピック出場報告

7月に行われた東京2020オリンピックのカヌー・スラローム女子カナディアンシングルに出場した佐藤彩乃選手（秋田病理組織細胞診研究センター所属）が10月29日、市役所角館庁舎を訪れ、オリンピック出場の報告をしました。



大舞台を振り返って、出場報告をする佐藤選手。



花束が贈られ、拍手で迎えられました。

報告会で佐藤選手は「オリンピックでは自分が求めていた結果にはならなかったが、たくさんの方々からの応援があり、試合を楽しむことができた。ありがとうの気持ちでいっぱい。今後は、オリンピックでの経験を生かして頑張っていきたい」と話しました。

## 石の形から何がみえる？

## せんぼく桜スクール「ストーンアート教室」



（写真上）イメージ通りの仕上がりにるように表情も真剣です。（写真下）生涯学習奨励員の皆さんのアドバイスで順調に作業を進める同校の同窓生。



10月16日、大曲支援学校せんぼく校で同窓生が集まり交流を深める「せんぼく桜スクール」が開催されました。このスクールは年3回開催されており、これまでポッチャヤヨガ、太極拳などを楽しんでいます。

今年最後の開催となる今回は同窓生17人が参加。講師に生涯学習奨励員9人を迎えストーンアート教室を行いました。

まずは1人2個ずつ石を選ぶところから。一人ひとり手にとる石の大きさや形はバラバラです。次の色塗りの工程では、なかなかイメージが浮かばなかったり、うまく色を重ねられなかったり、苦戦する同窓生もいましたが、講師の皆さんのアドバイスや補助によって、自分のイメージに近づけていきます。

そして、最後にニスを塗って完成です。石の形をうまく活かした、色とりどりで発想力豊かな作品が並びます。

同窓会副会長の鈴木健祐さんは「石に描くのは初めて。イメージがわからなくて悩んだけど自分なりの発想で最後まで描くことができてよかった」と感想を述べました。

また、教室終了後に講師を務めた生涯学習奨励員の新山正雄さんに感想を伺うと「皆さんの配色が素晴らしい。失敗しても塗りなおせるのがいいところ。一緒に過ごす時間がとても楽しかった」と話しました。

同窓生と奨励員が一緒に楽しく制作している様子や、友だちとの久しぶりの再会に嬉しそうなお姿が見られ、充実した一日になったようです。



## 水資源の豊かな仙北市に

## 鶴の湯・小野草水力発電所が完成

10月14日、田沢湖田沢地区で建設が進められていた二つの水力発電所が完成し、仙北水力発電株式会社（佐藤育男代表取締役）が竣工式を行いました。

完成したのは鶴の湯温泉近くを流れる先達川沿いの鶴の湯水力発電所（最大出力199kW）と、秋扇湖近くを流れる小野草沢沿いの小野草水力発電所（最大出力325kW）。年間発電量は、両発電所を合わせると一般家庭の1100世帯分に相当します。固定価格買取制度を活用して電力会社への売電事業がスタートし、その収益の一部は地域振興基金として地域活性化のために役立ててほしいと仙北市に寄付をいただきます。

両発電所は平成26年に地元有志が中心となって仙北水力発電株式会社を設立。同社と兵庫県神戸市のシン・エナジー株式会社が開発支援を行い計画を進めてい



水の落差を利用して発電するチエコ製の水車発電機。

ました。途中で送電設備の容量が不足する問題が発生しましたが昨年6月に建設に着工したのが8月に完成しました。工事をを行った株式会社西宮組の西宮幸実取締役相談役は「紆余曲折はあったがこうして完成したことに感無量。鶴の湯温泉さんの全面的な協力で施工しやすかった。工事では自然にあまり手を加えず、水の落差でタービンを回し発電

するので自然に優しい」と完成を喜びました。

竣工式には関係者約80人のほか、チエコ製の水車発電機が使われていることからチエコ共和国駐日特命全権大使のマルチン・トムチョ氏も出席。佐藤代表取締役はあいさつで「米どころの秋田で水の価値、水のありがたみはよくわかっているつもりだったが、エネルギーとしての価値についてはわかっていなかった」と話します。また、「地元自らが事業主体となって地域活性化のための水力発電事業に取り組むことは必然であった。仙北地域の水力資源を掘り起こし、地域を振興、活性化することに努める」と述べました。

門脇前市長は「取り組みは始まったばかりだが、小さな成功事例を志のある皆さまと一緒に積み上げ、国を変えるムーブメントの発信拠点になってほしい」と話しました。

今後、同社は新たに「あきた仙北水力発電株式会社」を設立する予定で、玉川地内の国有林野に濁沢第1・第2発電所を計画しています。



表彰式で表彰を受ける佐藤さん（左）。



秋田県知事賞を受賞した佐藤さんの作品「茶筒」。白っぽい「ちらし皮」と茶色の皮を交互に巻いたデザインが特徴。

- 秋田県知事賞** 茶筒／佐藤大
- 東北森林管理局長賞** 白型茶筒／米沢研吾
- 仙北市市長賞** キャンスター／米沢研吾
- 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞** 茶筒／三浦勇
- 秋田県伝統的工芸品等産業振興協議会長賞** 銀系皮茶筒二本帯付き／藤村浩美
- 秋田県議会議長賞** reConstructions（再構築）／(有)富岡商店
- 仙北市議会議長賞** 小箱／千葉秀喜
- 一般社団法人田沢湖・角館観光協会会長賞** コロコロスタンド／(株)八柳
- 仙北市商工会会長賞** 二段小物入れ／(株)藤木
- 伝四郎商店**
- 角館町榊細工振興育成協会会長賞** 小箱／三浦勇
- 田口鉄蔵賞** 茶筒／佐藤大
- 秋田魁新報社賞** 傘立て／(株)八柳
- NHK秋田放送局賞** 茶筒／荒川慶太郎
- ABS秋田放送賞** 小箱／(株)八柳
- AKT秋田テレビ賞** 花器「葉炎（ようえん）」／角館工芸協同組合
- AAA秋田朝日放送賞** Essence／(有)富岡商店

## 第49回角館町榊細工伝統工芸展

第49回角館町榊細工伝統工芸展が角館榊細工伝承館で開催され、秋田県知事賞に佐藤大さんの作品「茶筒」が選ばれました。

同展には、榊細工職人をはじめ榊細工問屋から伝統的工芸品の部に19点、一般品の部に29点の出展がありました。最高賞を受賞した佐藤さんは「茶筒の外側だけでなく、蓋の閉まり具合や内側も丁寧に仕上げた。今後も今まで

作りあげたものにとらわれず、新しいものを作ってみたい」と話しました。  
審査の結果（賞名・作品名・受賞者）は次のとおりです。  
（敬称略）

## 角館里山再生プロジェクトが企画 里山遊びで自然を満喫



10月29日、NPO法人角館里山再生プロジェクトが、角館町外ノ山での活動を通してふるさとの豊かな自然を感じてもらおうと、秋田森林管理署の協力のもと里山遊びを企画、大曲支援学校せんぼく小学校の児童8人が参加しました。

足さうな表情を浮かべていました。次に山道の落ち葉拾い。大小色とりどりの葉っぱを思いおもいに拾い集めていました。最後に、同管理署の尾前幸太郎署長が「どんぐりころちゃん」の紙芝居を披露すると児童たちは真剣に見入っていました。

青空が広がる当日、徒歩で学校を出発し、疲れた様子もなく外ノ山遊々の森に着いた児童たちは、まずはじめにきのこのほだ場に。一昨年に児童たちが植えたほだ木にはなめこがたくさん生えています。児童たちは夢中になって採り、袋に入れたなめこを見ながら満



原木からなめこを探る児童（右）。

## 里山地域貢献パートナー協定事業

### 3者でベニヤマザクラを植樹



どんな花を咲かせてくれるのか成長が楽しみです。

10月30日、株式会社伊藤園・NPO法人角館里山再生プロジェクト・仙北市の3者による植樹が行われました。

これは、3者による「里山地域貢献パートナー協定」の事業の一つで、昨年より里山の環境保全活動や交流が続いています。植樹の場所は、ベニイタヤなどの木々が色づく七面山。ローソン岩瀬角館店の裏手に鎮座する低山です。植樹に先立ち周辺の刈払いが行われ、その後、参加者約20人によってベニヤマザクラが植えられました。角館が大好きで毎年のように訪れていたという株式会社伊藤園・北東北地区営業部の阿部浩典地区部長は「特に桜の時期が好き。桜の咲く頃は江戸時代にタイムスリップしたような気持ちになる。微力ながら今回植樹をしてまたコロナ禍以前の賑わいが戻ってきてほしい」と話しました。さわやかな秋空のもと、参加者は桜の成長と、桜の時期のまちの賑わいが戻ってくるようにと願いながら植樹しました。

## 善意ありがとうございます

### 円満造さんと平福穂庵の作品を展示

### 鈴木瞭司さんのご親族が寄贈

角館榊細工伝承館に、このほど新たに寄贈された「本尊殿」と「大絵馬」が展示されています。この二点は角館町中川地区にある八幡神社屋内に安置されていたもので、管理家社守であった鈴木瞭司さんのご親族よりご寄贈いただきました。

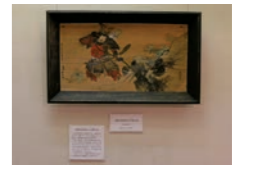
本尊殿は高さ約1.5メートル、切妻造平入り様式の軒下三手組物。丁寧に精巧な造りに目を奪われます。制作者は、大仙市出身の宮大工・高橋市蔵（通称・円満造さん）。秋田県の代表的な民謡の一つ、ドンパン節の元唄「円満造甚句」の生みの親でもあります。円満造さんは仙北市をはじめ北東北を中心に社

寺やお堂の制作を手がけています。大絵馬は1872（明治5）年に奉納されたもので、作品名は「八幡太郎義家と弓弦の泉」。作者は仙北市出身の画家・平福穂庵です。前九年の役で源義家が弓弦（ゆはず・弓の両端の弦をかけるところ）を岩にさす様子が描かれています。

両寄贈品はどのような経緯で八幡神社に納められたのかは不明ですが鈴木さんが代々大切に受け継いで守ってきたものです。展示は通年していますので、ぜひご覧ください。



高橋市蔵作「本尊殿」



平福穂庵の大絵馬

## 栄光・表彰 ～輝くとき

### 第1回仙北市男女共同参画チャレンジ賞

### 坂本佐穂さん（個人）と

### （株）安藤醸造（企業・団体）が受賞

この表彰は、仙北市で多年にわたり男女共同参画社会に向けた機運の醸成などに功績のあった方や、仙北市の男女共同参画の推進に貢献してきた方などを顕彰することによって、男女共同参画社会づくりの実現に資することを目的とし、仙北市男女共同参画推進委員会により設立されました。

表彰の種類は、個人の部、企業・団体の部と2種類あり、今年度は坂本佐穂さん（個人）、株式会社安藤醸造代表取締役社長 安藤大輔さん（企業・団体）が受賞されました。



右から同推進委員会の西宮三春会長、(株)安藤醸造の代理で出席した安藤雅子さん、坂本佐穂さん、門脇前市長。

### 令和3年度6年生シングルス大会 及び秋季研修大会

### 澤山・柏谷ペアが 見事優勝!

10月16日、令和3年度6年生シングルス大会及び秋季研修大会が大館市高館公園テニスコートで開催され、澤山心咲（仙北市ジュニア）、柏谷愛美（秋田市ジュニア）ペアが優勝しました。女子4年生以下



優勝した澤山さん（右・西明寺小4年）と柏谷さん（左・川尻小4年）ペア。

が出場した今大会、澤山・柏谷ペアは、順当に勝ち進み、見事頂点に立ちました。